

平成 24 年度 事業計画

学校法人 神戸薬科大学
理事長 雀 部 昌 吾

1. 創立 80 周年記念事業

- (1) 平成 24 年 9 月に創立 80 周年記念式典を実施する。また、80 周年記念の記念誌を発行する。
- (2) 薬学教育 6 年制が完成し学生数の増加に対応するため、地下 2 階・地上 4 階建て、延床面積 5,478 m²、最上階に 3・4 階吹抜の体育館、2 階に食堂、1 階にラウンジ、地下 1 階は生協購買部、地下 2 階は和室・卓球室が完備された 6 号館（体育館・食堂）建築工事を 80 周年記念事業の一環として行う。
- (3) 学部学生の経済状況急変に対応する奨学金制度を創設する。
- (4) 昭和ボストン大学への学生海外研修について、研修費の補助を検討する。

2. 教育環境整備

- (1) 新 1 年次生より、新教育カリキュラムを実施する。また、ゼミへの配属を 1 年前倒しして 4 年次生から行い、卒業研究の充実を図る。さらに、卒業研究として、病院や在宅医療現場での在宅医療研修と（財）先端医療振興財団 T R I（臨床研究情報センター）での医薬品臨床研究に係る研修を行い、臨床能力の向上を図る。
- (2) 英語教育を更に強化し、教育の国際化に向けて、昭和ボストン大学への学生海外研修を単位化し、3 年次・4 年次の 3 月に研修を行い、修了後には研修報告会を実施する。
- (3) 6 年制薬学教育制度での第 1 回目となる薬剤師国家試験の結果をふまえ、多様な対策を講じ高い合格率を目指す。
- (4) 就職ガイダンス、学内就職フェア、キャリアガイダンス等を開催し、就職支援を強化する。
- (5) 6 年制薬学部を基礎とする大学院博士課程（4 年制）を開設し、医療現場との連携を強めた臨床研究や創薬及び育薬研究を進め、薬学の多分野で活躍する高度な専門性を持った人材を養成する。
- (6) 平成 24 年度文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の申請に、大阪大学が基幹校になり 7 大学が連携した取組「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」の連携校として参画し、大学院博士課程にがん専門薬剤師基盤育成コース設置の準備を進める。
- (7) 平成 23 年度から実施している一般入学試験・中期について、科目数の変更に伴うシステムの改修を行い、入試システム全体に組み入れる。
- (8) 自己点検・評価委員会が中心となり、大学評価（認証評価）改善報告書を作成し、大学基準協会に報告する。

3. 研究推進事業

- (1) 平成 24 年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に補助金申請中の「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」の研究プロジェクトの実施を目指す。
- (2) 経常費補助金特別補助の「大学連携等による共同研究」に申請し、共同研究の充実を図る。
- (3) 平成 22 年度学術研究振興資金に採択された 3 年継続事業の 3 年目である「糖鎖の修飾による動脈硬化進展機序の解明と新規治療法の開発」の研究プロジェクトを引続き実施する。

4. 学外連携の推進

- (1) 神戸大学との間で構築した、「大学教育充実のための戦略的学外連携支援プログラム」の事業を基盤に、教育研究の推進を図る。
- (2) 大学院博士課程にがん専門薬剤師基盤育成コースの開設を目指し、大阪大学大学院との単位互換の検討など近隣大学との連携を深める。
- (3) ベトナム政府教育訓練省国際教育開発局との覚書を締結し、ベトナム政府推薦学生の大学院受入れ体制の整備を行い大学院生の受入れを進める。
- (4) 医薬品に関する危機管理研修について、連携による教員・メディカルスタッフの質の向上を目指したFD・SD合同研修を継続実施する。

5. 施設・設備整備計画

6号館（体育館・食堂）建築工事、3号館3階実習室の改修、10号館2階第4実験室ドラフトチャンバー（2台）の設置、アイソトープ実験施設ガンマ線測定器の更新、如修塾・岡本寮の改修、次期事務用コンピュータシステムの更新を行い、WEBを使用した成績発表など学生の教育環境の整備を図る。

また、学生貸し出し用のノートPC（15台）の購入、アーチェリーレンジ場の補修など学生生活環境の向上に努める。

6. 中期計画

(1) 施設設備計画

8号館（食堂跡地）の跡地利用、動物実験施設等の改築を検討。また、本学キャンパスでは、教育研究活動充実のため、年数が経過した施設設備を順次改修する。

(2) 財務基盤の拡充

6号館（体育館・食堂）建築工事に教育環境整備引当資金全額を充当した。今後の校舎建築改造、改修に備えて資金の充実を計るため、新たに2号基本金（教育環境整備資金）へ5年間毎年2億円の組入れを計画した。

以上